

香川大学 広報誌

かががアド

KAGAWA UNIVERSITY AD Vol.038 2023 SUMMER

38

THE 38th. ISSUE

かががアド

KAGAWA UNIVERSITY AD Vol.038 2023 SUMMER

香川大学広報室 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 087-832-1027 <https://www.kagawa-u.ac.jp>

人×テクノロジー
次の進化への挑戦

WELCOME TO
KAGAWA-UNIV.

表紙テーマ「人×テクノロジー 次の進化への挑戦」

AIを活用し、空海の筆跡を再現。空海の手紙に関する文献を機械学習させ、ゴシック体の文字をベースに今号の表紙テーマを作成しました。(岡崎准教授(P22-P23)が小西教授(P20-P21)の協力を得て作成。)



古島 私が所属する持続共生社会創生ユニットは、人々が豊かな人生を送れる「持続可能な社会」をつくるためにどうするべきか、解決すべき社会問題とは何かを探る学問分野です。複数のユニットが参加する授業もあり、特に、社会の「ユニバーサルデザイン」を紹介し議論を深める「ユニバーサルデザイン開発論」の授業が印象的でした。様々なユニットの学生が、それぞれ別の角度から意見を出し合え、分野が偏らずひらめきが生まれやすい「創発の実践」の場でした。

國土 私は「四国危機管理プログラム」の授業で、徳島大学や社会人学生と一緒に実習も行いました。地図を使って災害状況を把握し、避難所を適切に管理する実践的な内容で、とても興味深かったです。防災の現場では、現地で

**実践的な創発の場で
自分の可能性を再発見**

川上 地域の企業と連携して実践的な課題解決に取り組むPBL(Project Based Learning)の授業は面白かったです。学部学生時代にもありましたが、学びの深度がまったく違いました。「警備会社のブランディング」をテーマに社員から話を聞きながら解決策を考える回で、私のチームはプロモーションビデオを活用する広告戦略を提案。一分野に特化した知識では太刀打ちできなかったのですが、興味関心もバツクグラウンドも違うメンバーと互いの知識を生かして一緒に解決を目指すのが楽しかった。こういう現場目線を学生のうちから経験できるのは、創発科学研究科の強みだと思います。

古島 私は大学院で学んでみて、大学職員として「学生目線」を意識することの重要性を改めて感じました。自分が経験して初めて気づいた点も多く、それらは今後の仕事に還元するとともに、サービス全体の質の向上につながりたいと思います。今の私は、社会人目線を少し離れて、自分の視野を広げていく段階。大学院を修了しても学ぶ姿勢は持ち続けたいです。社会はテクノロジーの力で人間の想像を超えた速度で進化してきましたが、私もそれに負けないスピードで進化していく人材を目指します！

川上 私は将来、オフィス家具の設計開発をしたいと思っています。家具の中でも特に機能重視する最先端分野だし、ユーザーも多様性に富んでいるところが面白いなと。今ちょうど修士論文に取り掛かったところで、いろんな分野の授業で学んだことをどう組み込んでいくか、自分なりに調べながら試行錯誤しています。

國土 学生時代はずっと防災を学んできましたが、行政ならともかく、一般企業で防災を主業とする会社は少ないのではないのでしょうか。ネクストプログラム(P.6・P.25)にも参加して、被災地でのボランティア活動を通じて現場を学ぶ機会も得ましたし、防災士の資格も取りました。身につけた学びを生かして、企業で危機管理や防災に取り組む人材になりたいと思っています。



大学院
創発科学研究科
のHPIはこちら▶▶▶

DIVISION OF SCIENCE FOR CREATIVE EMERGENCE

大学院創発科学研究科

目指せ、イノベーション人材

AIMING TO BECOME INNOVATER



多様性に満ちた環境が
フレキシブルで刺激的

川上 創発科学研究科へ進学したのは、分野横断的にプロダクトデザインの学びを深めるため。つくり手がデザインとエンジニアリングを学び、理解したうえでものづくりを行うことで、モノにおける意匠と性能の新しい関係性を築くことができ、今までにない良いものをつくることのできるのではないかと考え、この考えのもと日々勉強をしています。両方学べる環境は、優れたものづくりを模索するには理想的だと感じました。

國土 創発科学研究科では危機管理学の修士号を取得でき、それが全国の大学院の中でもユニークだと感じました。防災やリスク管理の学びは学部と共通するところもありますが、一緒に学ぶ人たちは同じ興味を持ちながら一人ひとり違う視点や経験に裏打ちされていて刺激的。特に社会人と一緒に学ぶ機会が増えて、新しい目線で物事を見るきっかけになりました。

古島 私は香川大の職員で、まさに学び直すために大学院に入った社会人学生です。社会人学生に対するサポートが手厚いのも、創発科学研究科の特長ではないでしょうか。先生方は私たちの意見も柔軟に取り入れ、細かくケアしてくれて、社会人も学生たちと平等に学ぶチャンスを得られるサポートがあります。初めて学ぶ分野も多いため「大学院レベルの理工系の授業にはついていけなかも」と不安もありましたが、丁寧なフォローのおかげで頑張れています。逆に、社会人経験があるからこそ理解しやすい部分もありました。

一つの分野に偏らない発想や視点が 社会のさまざまな課題解決につながっていく



危機管理学ユニット

國土 真希 (こくど まき)
香川県出身

小学生の頃にテレビでみた東日本大震災の被災地映像を「怖い」と思ったことが防災に興味を抱いたきっかけ。創造工学部の学びに加え、更に実践的な研究を深めたくて大学院へ進学。被災地でのボランティアなどにも熱心に参加し、積極的に知見を広げている。



持続共生社会創生ユニット

古島 愛 (ふるしま あい)
徳島県出身

香川大で20年来働いている大学職員。社会人として経験を積み、仕事を通じて成長する中で、「総合的な学びの楽しさ」は学生時代ならではなかったと気づき、上司や周囲の応援に背中を押されて1年休職。社会人学生にオープンな創発科学研究科で学び直す道を選んだ。



エクスペリエンスデザイン&
アートユニット

川上 吉平 (かわかみ きつぺい)
岡山県出身

香川大の創造工学部でプロダクトデザインを学び、分野横断的な環境に惹かれて「ここでしか学べないことがあるはずだ」と大学院に。建築から家具へと興味の軸が移り、今はオフィス家具の設計開発が目標。社会のさまざまな人が仕事の場で使う身近なものを「デザインする側」になりたい。

情報化推進統合拠点の役割

香川大学のみならず地域の情報化やDX推進のための拠点として4月にスタート



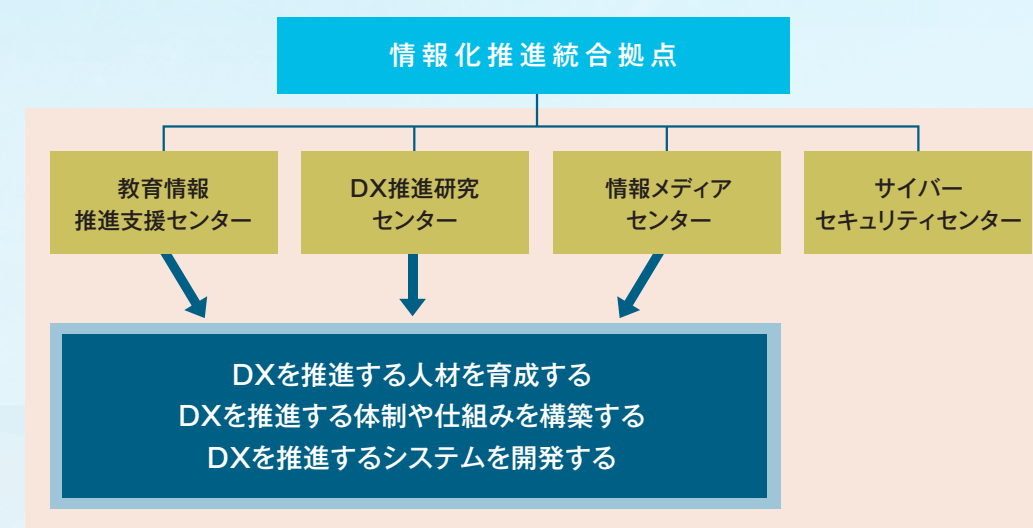
情報化推進統合拠点長
香川大学創造工学部教授

林 敏浩 (はやし としひろ)

香川県東かがわ市出身。
徳島大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。
佐賀大学理工学部助教授、香川大学総合情報センター教授を経て、2018年より創造工学部教授、2023年より情報化推進統合拠点長。
専門は教育工学、四国学。

香川大学情報化推進統合拠点

—情報化推進統合拠点の組織と学内連携部局—



情報環境の守護者として
組織再編で新たな高みへ

情報は、物質やエネルギーと並んで科学の進歩に不可欠なものです。物質やエネルギーと同じように情報の遍在と活用が「当たり前」となった今、教育・研究・運営を軸に学内の情報関連業務を統括し、あらゆる情報を扱いやすく整えるのが、情報化推進統合拠点の役割です。言わば「情報環境を守るガードマン」ですね。

旧情報メディアセンターが担ってきた役割を、4月から「教育情報推進支援センター」「DX推進研究センター」「情報メディアセンター」「サイバーセキュリティセンター」の4センターに整え直し、相互連携を深めました。DX推進研究センターは、単なる業務のデジタル化ではなく、物事の仕組み自体を見直すために情報の力を生かすことを目的としています。特にユニークなのは、ローコード・ノーコードプラットフォームを用いて学生が実際に大学で使われるシステムを開発しているところです。情報メディアセンターは学内情報基盤を担い、学内外

情報化推進統合拠点のHPはこちら



情報メディアセンター長
DX推進研究センター長
香川大学創造工学部教授

八重樫 理人 (やえがし りひと)

静岡県三島市出身。
芝浦工業大学大学院工学研究科機械制御システム専攻博士後期課程修了。博士(工学)。
豊田工業大学総合情報センターポスドクトラル研究員、芝浦工業大学システム工学部講師を経て、2020年より香川大学創造工学部教授、2021年より情報メディアセンター長。専門はソフトウェア工学、情報システム工学。



教育情報推進支援センター長
香川大学創造工学部教授

藤本 憲市 (ふじもと けんいち)

徳島県徳島市出身。
徳島大学大学院工学研究科システム工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。
阿南工業高等専門学校助教授、徳島大学助手、エディンバラ大学客員研究員、徳島大学助教を経て、2022年より香川大学創造工学部教授、2023年より教育情報推進支援センター長。専門は数理工学、機械学習、医用工学。



サイバーセキュリティセンター長
香川大学創造工学部教授

最所 圭三 (さいしょ けいぞう)

佐賀県鳥栖市出身。
九州大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。工学博士。
九州大学総合情報伝達システム運用センター助教授、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授、2000年より香川大学工学部教授を経て2018年より創造工学部教授、2023年よりサイバーセキュリティセンター長。専門は、インターネット応用、システムソフトウェア。

を繋ぐネットワークや基盤システムの維持管理が中心です。サイバーセキュリティセンターはセキュリティ強化を担います。教育情報推進支援センターは学生たちの学習情報を分析し、大学の教育力を向上させます。センターを4つに分けたことにより役割が明確化し、組織として何が必要かも少しずつ見えてきました。現在の課題は「大学内部に点在するさまざまな情報をいかに集約し分析するか」です。拠点の取り組みを通じて学内業務が効率化し、学内の情報の分析が進めば、空いたリソースを他の業務に充てることもできるはずで、効率化が進んで成果が見えるようになれば、当拠点の意義を感じてもらえると確信しています。

オフィスには教員・職員に加えて学生も同じフロアにいて連携が容易です。フリアドレス制を採用し、素敵な音楽が流れ、カフェスペースや多目的コモンスペース、集中ブースなども設置されました。教職学協働の先進事例として、今後の学内の情報化やDX推進に向けて取り組みたいと思います。

情報インフラを生かして
デジタル技術を用いた
社会変革にチャレンジしたい

情報化推進統合拠点の土台には、積極的なeラーニング環境整備を進めてきた本学の歴史があります。香川大学は2008年から戦略的大学院連

ここから、情報活用をリードする。

携支援事業としてeラーニングによる教育の共同実施に取り組み、「四国5大学連携による知のプラットフォーム形成事業」の基幹校も担当しました。現在、10,000人を越える履修者をかかえています。「知プラe科目」をはじめとするeラーニングのインフラとノウハウが既に確立していたおかげで、「コロナ禍でのオンライン授業などにもいち早く対応できました」。

情報化推進統合拠点は、コロナ禍やこれから起きるかもしれない南海トラフ地震など、さまざまな社会的ダメージにも耐え抜くための情報インフラを提供します。以前は学内に置いていたサーバーも外部(データセンターやクラウド)に移し、どんな災害にも耐えうる環境を整備しました。また、IT人材育成などにも取り組みます。当拠点や創造工学部で情報分野を専門とする教員が講師を務めます。次のステップとして、私たちは情報インフラを生かしてデジタル技術を用いた社会変革(DX・デジタルトランスフォーメーション)を考えなくてはならないと思っています。

「人間中心」の発想で
技術を使いこなそう

私自身は情報工学が専門で、1980年代から「情報はこれからますます重要になるだろう」という実感を持っていました。特に興味を持ったのがeラーニングでした。当拠点が、

私が持つ情報工学の知識を生かして、eラーニングを支える幅広いテーマを追求できる場所になってくれることを期待しています。

日進月歩の技術を生かしたコトの効率化が進んでいますが、世の中の仕組み自体を見つめ直す視点を持つことが大事ではないでしょうか。テクノロジーを扱う時は、「人に寄り添い人間中心で考えているか」「本当の目的を達成するために何をすべきか」を考える視点を持つてほしいと思います。たとえば授業履修のためにキャンパス間の移動が不便だというなら、「連絡バスを増やす」のも一つの効率化ですが、「オンライン化してどこからでも授業履修できれば移動が不要になる」という考え方も生まれます。このような考え方は本学が取り組むデザイン思考教育においても重要なポイントであり、本学のDRI教育を通じて学生たちに身につけてほしい視点でもあります。

当拠点はさまざまな場面で「人間中心」の本質的な情報化のための取組を進めていきたいと思っています。これからの情報化推進統合拠点の活動に期待してください。





左:医学部 医学科 3年
宮武 桜子(みやたけ さくらこ)
(香川県立高松高等学校 出身)

中:創造工学部 創造工学科 2年
佐野 朝暉(さの あさひ)
(岡山県立岡山一宮高等学校 出身)

右:教育学部 学校教育教員養成課程 2年
勝浦 弓葵(かつうら ゆき)
(徳島県立城北高等学校 出身)

予測不能な時代に、
新たな価値を。

DRI教育

DRI教育の
HPはこちら▶▶▶



D

Design thinking

イノベーションを創出する
「デザイン思考」

R

Risk management

レジリエンスや
セキュリティ等に資する
「リスクマネジメント」

I

Informatics

デジタル社会を生きるための
「インフォマティクス」

香川大のDRI教育が目指すのは、全6学部の専門的な学びに加え、新たな価値を創造し、予測不能な時代を生き抜く力を身につけた人材育成です。1年次から全学共通科目としてDRI能力育成科目を開講し、学習の成果を学内検定「アセスメントテスト」ではかるカリキュラム。学生は文系・理系の枠を超えた分野横断的な学びを通じて、課題を解決する総合的な力を磨くことができます。

DとRとIを統合した独自の教育体系

「D…デザイン思考」では、ニーズをつかんで課題を明確にし、その解決に向けてイノベティブなアイデアを創出し、試行検証を経ていくプロセスを身につけます。「R…リスクマネジメント」は、想定されるリスクを事前に予測し、起きてしまった時にどう対処するかを学びます。「I…インフォマティクス」は、AIが不可欠な今の時代において、文系・理系問わず情報リテラシーやデータリテラシーを高める数理・データサイエンス・AI教育です。

デザイン思考とインフォマティクスにリスクマネジメントを統合して「DRI」としているのが、香川大のユニークなところ。2019年度にスタートした1年次からの全学共通科目「はじめて学ぶDRI」を皮切りに、現在D科目80科目、R科目25科目、I科目32科目を開講中。学生たちはさまざまな分野を網羅するD・R・I各科目から、興味のあるものを自由に選んで受講しています。

より深く学びたい人向けに、副専攻的な位置づけの「ネクストプログラム」にも2020年度から「DRIイノベーター養成プログラム」を開講しました。

高い学修成果は社会的にも強みとなる

各DRI科目の学修成果を確認するチャンスが、2022年8月に始まった独自の学内検定「アセスメントテスト」です。一定以上の成績を収めると「マスター」に認定され、就職活動などで自分の強みとして打ち出せるメリットも。検定を受けるために必要な講義は動画でも視聴できるので、空き時間などを活用して自分のペースで受講しながら、試験日まで計画的に学習を進める自己管理能力も磨かれます。

初回は「リスクマネジメント検定」「インフォマティクス検定」のみが実施され、2023年から「デザイン思考検定」が加わりました。初回検定では受検者1,123人のうちリスクマネジメント検定で34人、インフォマティクス検定で22人がマスター認定を受け、両検定でマスターとなった5人の学生は代表者として学長から認定証が授与されました。

DRI教育は、分野を超えた学びを通じて視野を広げ、自分でも気づいていない自分の可能性を切り拓いていくきっかけとなる学びです。さまざまな社会課題が深刻化する中、イノベティブな発想でリスクと向き合い、課題解決に挑む強靱な力を、ここで身につけていきましょう。

2023 SUMMER

NEWS&TOPICS 主なニュース&トピックス



国際希少糖研究教育機構が
第12回地域産業支援プログラム表彰事業
(イノベーションネットアワード2023)
文部科学大臣賞を受賞し報告会を開催



令和5年6月28日、香川大学の国際希少糖研究教育機構は「希少糖イノベーションの共創的価値化向上とエコシステム型の知の拠点形成」事業で「第12回地域産業支援プログラム表彰事業(イノベーションネットアワード2023)文部科学大臣賞」を受賞したことを記念して、希少糖研究のこれまでの成果に加え、食品分野、医療、農業、工業等の分野における希少糖研究の今後の展開について報告会を開催しました。

G7香川・高松都市大臣会合の一環として 学生からの提言書を斉藤国土交通大臣へ手交



令和5年7月7日、G7香川・高松都市大臣会合の一環として、斉藤国土交通大臣へ本学学生がまとめた提言書を手交しました。提言書は、令和5年6月3日、「持続可能な都市を目指して」をテーマに開催された「学生サミット in 香川・高松」において出た意見をまとめたものです。本学からは、学生11名が参加し、それぞれ事前に調査したG7各国の都市政策を発表した後、各国出身者の意見も参考に、香川・高松において、持続可能な都市の実現に向け必要と思われる事項を提言書としてまとめました。提言書と合わせて、学生達の熱意と士気を直接伝える貴重な機会となりました。



心理的安全性AWARD2023にて 香川大学創造工学部開設科目「ロジカル思考演習」の 担当教員チームの取り組みがプラチナリングを受賞



令和5年7月6日、東京の渋谷ストリームホールにて心理的安全性AWARD2023が開催されました。「心理的安全性AWARD」は、心理的に安全で効果的なチーム・組織づくりへの取り組みを表彰するアワードです。企業や医療法人、学校・NPO・スポーツチームなどが応募し、20チームが選出され、本学創造工学部開設科目「ロジカル思考演習」の担当教員チーム(山中隆史、北村尊義、勝又暢久、竹内謙善、李セロン)の取り組みが最高位のプラチナリングを受賞しました。「積極的な学びの姿勢に不安を感じさせない大学初年次教育」に向けた担当教員らの活動と成果が高く評価されました。

日経 就職ランキング 2023▶▶2024

大学の取り組みランキング[全国] 地域の活性化に貢献している大学ランキング

順位	分類	大学名	得点
1位	私	福岡工業大学	8.91
2位	国	鹿児島大学	8.61
3位	私	東北学院大学	8.19
4位	国	横浜国立大学	8.13
5位	国	新潟大学	8.10
5位	国	香川大学	8.10
7位	国	群馬大学	8.00
8位	国	長岡技術科学大学	7.97
8位	私	東京農業大学	7.97
10位	国	富山大学	7.96

順位	分類	大学名	得点
11位	私	関東学院大学	7.94
12位	私	金沢工業大学	7.93
13位	私	日本工業大学	7.91
14位	国	山形大学	7.90
14位	私	大阪経済大学	7.90
16位	私	東北工業大学	7.85
17位	国	茨城大学	7.82
18位	国	名古屋大学	7.78
19位	国	愛媛大学	7.77
20位	国	東北大学	7.76
20位	国	千葉大学	7.76

これらのランキングは日本経済新聞と日経HRが調査主体として行った調査をもとにして日経HRが発行したもので、全上場企業と一部有力未上場企業を対象に各大学の「学生のイメージ」と「大学の取り組みへのイメージ」について調査したものです。(回答社数738社)大学の取り組みへのイメージランキングは項目毎に大学の取り組みイメージについて評価したものです。昨年に引き続き「地域の活性化に貢献する大学ランキング」において全国で高い順位にランクインした。出展・価値ある大学2023-2024版就職ランキング日経HR発行・日経BPマーケティング発表

ヒロガル ツナガル KADAI CAMPUS

香川県下4箇所に設置されている
香川大のキャンパスをご紹介します!!

香川大学 ネクスト プログラム NEXT PROGRAM

所属する学部で専門教育を受け、修了時に「学士」などが取得できる一般的な大学の学びは「学位プログラム」と呼びます。一方、ネクストプログラムは「分野を超えて興味のあることをもっと学びたい」という学生たちの主体性に応える自由参加型の「特別教育プログラム」。学部の枠を超えて学習したさまざまなカリキュラムは単位として認定され、専門性の高い知識や資格が身につく実践的な内容です。学位プログラムの学びを深めるとともに、就職活動の際に自信を持って自分をPRできるメリットも。既存の学問体系にとられない自由な環境で、自分の可能性をどんどん広げていきましょう。



防災士養成プログラム

こんな人に
ピッタリ 「防災活動に興味があるけど、何を学べばいいの？」
「いざという時に役立つ学びを深めたい」

NPO法人日本防災士機構が認定する「防災士」の資格を取得し、地域・企業の防災活動に貢献する人材育成を目指します。基礎から防災を学べる関連科目のほか、学内外の防災活動に参加し、実践を学びます。

1年次：学内外で基礎を学んで防災士の資格を取得
大学内で…防災リテラシーや防災コンピテンシー関連の養成講座
消防機関で…普通救命講習
2年次以降：防災士養成プログラムに参加
防災ボランティア講座、救命救急講習、防災活動ボランティアなど



グローバル 人材育成 プログラム

こんな人に
ピッタリ 海外留学したいけど、
「語学力に自信がない…」 「経済的に難しい…」

国際的に通用する語学力とグローバルな専門知識・技術を身につけ、地域社会の課題解決に貢献できる人材の育成を目指します。英語・中国語コースがあり、本学と提携する現地の大学等へ1年間留学して学びます。

1年次：語学力を向上
関連科目の受講・ネイティブスピーカーとのレッスンなどを経て語学検定試験(英語コース:TOEFL・中国語コース:HSK)を受検。
2年次：海外の大学で専門性を高める
一定の語学力が認められたら、奨学金等の支援を受けて英語圏・中国語圏の大学へ留学。語学留学ではなく専門教育を受ける。

OLIVE SQUARE

[オリブスクエア]

幸町キャンパスの中心にある図書館(中央館)と大学会館を繋ぐセンターエリアです。香川の明るい日差しに照らされた学びの広場として、学生や教職員が気軽に活用できるスペースです。



グローバル・カフェ

学生が楽しく外国語を学び、慣れ親しむためのスペースです。留学生を交えたイベントや、英字新聞等を読むことができます。



ラーニング commons

図書館の中にありながら、グループ学習やミーティングで活発に意見を交わすことができる明るく広々としたスペースです。



多目的ホール

約200名が収容できるホールです。講演会、集会、サークル活動や地域交流に利用できます。



ベーカリーカフェ「ソラミ」

焼きたてのパンがいっぱい!他にも軽食やスイーツ・ドリンクが充実しています。



DRIイノベーター 養成プログラム

こんな人に
ピッタリ 「DRIについてもっと深く学びたい」

DRI(デザイン思考・リスクマネジメント・インフォマティクス)についての学びを深め、地域社会の課題を解決し、イノベーションを創造できる人材育成を目指します。

必修科目「はじめて学ぶDRI」を受講

全学共通科目・学部開設科目から「DRIイノベーター養成プログラム科目」を受講

「DRIイノベーター養成プログラム課題研究」を受講し、研究内容を発表



ヒューマニティーズ プログラム

こんな人に
ピッタリ 「専門以外で興味のある分野をちゃんと学びたい」

人文学(Humanities)は、哲学・文学・歴史学・芸術学・言語学・文化人類学・社会学など、目先の実用性にとらわれず多角的に「人間」を見つめる学問分野です。アドバイザー教員のサポートの下で興味に沿った履修モデルを組み立て、自分なりのテーマを見つけて課題研究に取り組みます。

全学共通科目から興味のある人文系科目を受講

各学部の専門科目から興味のある人文系科目を受講

「ヒューマニティーズプログラム課題研究」を受講し、研究内容を発表



**中学校で美術を
教えたい!**
生徒のやりたいことを尊重できる教
師になりたい。今は附属学校での教
育実習が楽しみです。



教育学部

学校教育教員養成課程 中学校教育コース美術領域 2年
森脇由子(もりわき・ゆうこ) (岡山県立岡山操山高等学校 出身)

現場目線のサポートが心強い

小学校の図工の授業が楽しくて、作品が教科書に掲載されたこともある
んです。高校は普通科でしたが、美術と教職への興味を追求したくて
香川大へ。附属学校があること、実際に現場に立つ先生方の指導を
直接受けられることは香川大の大きな強みだと思います。同じ夢
を持つ仲間と一緒にモチベーションも高まり、先輩方
がいろんな情報を教えてくれる縦のつながりも心強
いですね。



地域に貢献したい!
公務員を目指しています。市役所職
員として地域と深くかかわり、身近
な街に貢献する人材になりたい!

将棋部で
真剣勝負



100th ANNIVERSARY 経済学部

経済学科 観光・地域振興コース 3年
速水元也(はやみ・もとや) (香川県立高松商業高等学校 出身)

地域のことを多角的に学ぶ

歴史ある経済学部で地域の観光学を学びたくて入学。幅広い分野を
学んで視野が広がり、中でもフィールドワークを通して地域の新た
な魅力を発掘するツアープランをつくる授業が楽しかった!
経済学部ゼミナール連合協議会の活動で企業説明会
を主催した時の達成感も忘れられません。



ヒロカル
ツナガル
KADAI
CAMPUS

幸町 CAMPUS



瀬戸内サニーさん (P18-19) もここで学びました。

幸町キャンパスで学べる4つの学部

●北キャンパス

教育学部

学内外の体験・実習を糧に実践的指導力を
身につけ「先生になりたい!」を叶える。

創造工学部

リスクマネジメント力とデザイン思考力を
兼ね備えた次世代型工学系人材を育む。
※造形・メディアデザインコースのみ

●南キャンパス

経済学部

地域創生から国際志向まで実践的な5つ
のコースで経済と経営の真髄を学ぶ。

法学部

法曹・公務員・企業法務など将来の道をイ
メージした3コースでいずれも少人数制。

経済学部は
100周年!

創造工学部

創造工学科 造形・メディアデザインコース 2年
勢登遥(せと・はるか) (私立N高等学校 出身)

大学運営にかかわるチャンスも多彩

プログラミングで何かをつくるにも、物をデザインするにも、数学と美術、
両方の観点が必要ですから、どちらも学べる創造工学部の環境は本
当にぴったり! 洗練された見た目とともに、伝えたい「意味」を的確
に込めるロゴやラベルデザインの面白さにすっかり魅せられまし
た。また香川大は教職学連携が深く、いろんな活動に携わ
るチャンスも豊富です。僕も広報スタッフとして積極
的に関わる中で、「実行力に欠ける」という
弱点を克服できました。



大学から発信する 独自の企画も運営

本学のSNSアカウントのフォローを擔や
企画を担当し、プレゼントのくじ引きプ
ログラムも僕がつけさせていただきまし
た。やりがいも大きかったし、企画運
営の難しさを体感するいい機会
にもなったと思います。



将来の進路は...

企画とデザイン、どちらに進むかま
だ悩んでいて…。専門が決まるの
は3年次ですから、時間をかけて検
討できるのも香川大のいいところ
です。

法学部

法学科 法律職コース(法曹プログラム) 2年
三宅純運(みやけ・すみれ) (私立札幌光星高等学校 出身)

実践的に法曹界を目指せる

高校の時に検察官の仕事を知る機会があり、犯罪者を厳しく追及するイ
メージとは裏腹に、丁寧に話を聞いて寄り添う人間味あふれる仕事だと
知って興味を持ちました。香川大は1年次から少数精鋭のゼミに所属
するので先生方との距離が近く、現職の弁護士などから司法試
験に向けた勉強方法を直接学ぶ「法曹プログラム」も2年次
から活用しています。

大学の学びは 無限大

やりたいことは何でもできるのが大学の
魅力。全学共通科目や図書館を活用
して、専門以外でも面白いと思っ
たことはとことん学びたい!



文系・理系の枠を超えて
豊かな学びを深める4学部

香川大学には、四国の国立大学で唯
一の法学部と経済学部があります。経
済学部は1923年から100年の
伝統を誇り、2万7000人以上の人
材を輩出してきました。2018年か
ら1学科5コースに改組し、1年次か
らゼミを中心とした少人数教育と
フィールドワークに重点を置いて、地域
の行政や企業と連携しながら実社会
を学ぶチャンスにあふれています。

法学部は、司法・経済の重要拠点
が集まる地域環境の下、「リーガル・マイ
ンド」を身につけてさまざまな分野で活
躍する人材を育成します。法曹界や法
律分野の専門家を目指す「法律職」、
公務員やNGO・NPOなど公共性の
高い立場から地域に貢献する「公共政
策」、豊かな法知識で企業の中核を担
う人材を育成する「企業法務」の3
コースがあります。2023年から「法

創造工学部の全7コースのうち唯一
幸町キャンパスを拠点とするのが、造
形メディアデザインコース。DRI教育
をベースに、エンジニアリングとデザイン
が融合した新たな価値を創造する力
を磨きます。

教育学部は子どもたちの「未来を拓
く仕事」である教員を目指し、主体的
・対話的で前向きな深い学びが得られる
場、幼児教育・小学校教育・中学校教育
の3コースがあり、小・中学校教育コース
は2年次で専門分野に分かれて、より
深い学びを追求します。7つの附属学
校園と2つの附属施設で実践的な指
導力が身につく、教員採用試験対策に
関するサポートや自主学習活動も活発
です。

曹プログラム」がスタートし、入学から
最短5年で司法試験受験を目指せる
ようになりました。

常に新しい挑戦を続ける フレッシュな創造の場

経済学部 経済学科
経営・イノベーションコース 3年
山口扇世(やまぐち・みこと)
(徳島県立脇町高等学校 出身)

患者さんの笑顔を守りたい

看護学科 3年
近藤綾香 (こんどうあやか)
(徳島県立城東高等学校 出身)

祖父が救急搬送された時にICUやHCUで働く看護師の姿に感動したこと、高校時代に災害ボランティアに参加した経験などを踏まえて、今の目標は「急性期病棟で一人一人に寄り添う看護を実践し、災害時は被災地を支援できる看護師」。どんな患者さんも笑顔にできるよう、サークル活動や海外ボランティア、意思疎通が難しい人のための文字盤練習などでコミュニケーションを勉強中。今しかできない挑戦を後押ししてくれる先生方や環境のおかげで、自分の可能性が広がってます!



夢チャレンジプロジェクトで海外へ

先輩と一緒に提案した企画が大学のプロジェクトの一つに選ばれて、カンボジアの子どもたちに服を届けました。今後は私たちが主体となって、またカンボジアの人たちと何かやりたい!

45th ANNIVERSARY 医学部



「ぬいぐるみ病院」のサークルでも活動中



人間性豊かな医師を目指して

医学科 3年
門田光輝 (かどたこうき)
(香川県立高松高等学校 出身)

小児医療に興味があり、病弱な弟を診てくれていた先生が香川大の教員であったことが進学を決め手。まだ実習は始まっていませんが、医療の現場を学べる実践的な授業が多く、患者として接する時は医師の仕事のごく一部しか見えていなかったと実感しました。AI診断やロボット手術などの技術が今後どんどん進化していくでしょうが、医師としてそれを適切に使いこなす倫理観を学べる機会もあります。海外を含め、自分から積極的にチャレンジする姿勢があれば、チャンスが舞い込んでくる環境を生かして、豊かな人間性を育みたいと思います。

先生方が親身に距離が近いのがいい



医学科と一緒に学ぶ場が刺激に

臨床心理学科 2年
廣瀬愛唯 (ひろせあゆみ)
(私立香川誠陵高等学校 出身)

昔から人に相談されることが多く、「聞くだけじゃなくて力になりたい」と思うようになり、香川大にカウンセリングを研究する先生がいらっしゃると知って進学を決めました。感情人格心理学の授業では自分に対する理解が深まり、医学科と一緒に学ぶ時は視点の違いに刺激を受けることも。高校時代のボランティア経験から障がい児と保護者の支援に興味がありますが、今は福祉・教育・医療機関、さまざまな可能性を視野に入れて、自分の道を見極めたいと思っています。



三木町医学部 CAMPUS

— 三木町医学部キャンパスで学べる学部 —

医学部

医学・看護学・臨床心理学の3分野から地域医療に寄り添う医療人・心理援助者・研究者を目指して。

「自己発展性」「コミュニケーション力」「思いやり」を重視する学習環境の下、現場目線の高度かつ実践的な学びを提供。毎年ほぼ全員が国家試験に合格し、キャリアをスタートさせています。

看護学科では「倫理観」「自律性」「自己発展性」「コミュニケーション力」を軸に、主体的な課題解決能力を磨く学習カリキュラム、医学部附属病院や県内医療機関でのハイレベルな臨床実習などが整っています。入学から専門医取得までのキャリア形成は、「臨床教育研修支援部」がシームレスにサポート。

医学部は、研究・臨床の二刀流医師を育てる医学教育を実践。基礎医学と臨床医学の知識を深める専門プログラムを軸に、主体的な課題解決能力を磨く学習カリキュラム、医学部附属病院や県内医療機関でのハイレベルな臨床実習などが整っています。入学から専門医取得までのキャリア形成は、「臨床教育研修支援部」がシームレスにサポート。

国際交流を通じて豊かな視野を育む

国際的な視野を持ち、多文化に親しむ人材の育成を目指す医学部では、中国、英国、東南アジアをはじめとする海外協定校と双方方向の留学が活発で、キャンパス内でも留学生との交流が盛ん。JICAなどと連携した国際協力プログラムも推進しているほか、研究者間交流を通じて香川大の誇る最先端の研究成果を世界に発信しています。

からだ、こころのエキスパートを育成

医学部は今年45周年!

附属病院と同じ敷地内で医療の現場が身近

臨床心理学科は、全国の国立大で初めて医学部内に開設され、医学系科目や医療系実習も充実し、臨床心理学と医学の素養を融合的に学べます。公認心理士・臨床心理士・医師の資格を有する専任教師の下、定員20人の少人数制で、きめ細かい指導が受けられる環境。大学院に進む人が多いのも特長です。





林町 CAMPUS

県立図書館が
すぐ近く!



「技術×デザイン思考」実践の場
ここから未来を創造する

新たな価値創造を目指す
次世代の技術者を育成

林町キャンパスで学べる学部

創造工学部

リスクマネジメント力とデザイン思考力を兼ね備えた次世代型工学系人材を育む。
※造形・メディアデザインコースは幸町キャンパス

DRR教育をベースに、高度な情報処理・数値処理能力とデザイン思考・リスクマネジメント能力を兼ね備えた人材を育成する、1学科7コースの創造工学部。*

「建築・都市環境コース」は安全・安心で快適なだけでなく、地域の自然環境や風土・歴史文化を踏まえた都市や建物のデザインを目指して、読解・分析・構想・設計力をトータルで磨きます。

「防災・危機管理コース」は、さまざまな「想定外」にあふれた世の中でリスクに備える発想力を持ち、技術×人の力で将来の安全・安心をデザインする人材を育てます。

「情報システム・セキュリティコース」は、今や社会に欠かせないインフラとなった「情報」を軸に、技術力とリテラシーの高さを兼ね備えた情報システム・セキュリティ技術者を育成します。

「人工知能通信ネットワークコース」は、ネットと社会をつなぐ「通信」、chatGPTなどが注目を集める「AI」など、日常生活から最先端技術まで幅広く支える分野。人工知能、無線・光通信ネットワーク、計測技術などの基礎と実践的な応用力を磨きます。

「機械システムコース」は、優れた機能美とともに、人間と親和性の高い機械システムを追求します。

「材料物質科学コース」は、あらゆる工業製品や技術を支える「材料(素材)」に着目し、材料技術の視点からものづくりに貢献する分野です。

興味関心に応じて他コースの科目も横断的に履修できる柔軟なカリキュラムが特長で、コース配属は2年に進級する際に確定しますから、1年次のコースを変更してもOK。配属後に転コースするシステムも整っています。

趣味や興味を研究に生かせる!

創造工学科
情報システムセキュリティコース 4年
道信祐成(みちのぶ・ゆうせい)
(岡山県立玉野光南高等学校 出身)

技術や情報は今や僕らの生活になくてはならないものですが、大学で本格的に学んでみて、思った以上にジャンルが広く、こんなにすごいことができるのかと驚きました。今は人工知能の研究をしていて、テーマは「AIによる画像処理」。大好きなサッカーに研究を応用するのが夢で、アプリ開発の授業では試合映像から選手の位置情報を取得するアプリを提案し、金賞に輝きました。今後も大学院で学びを深め、機械学習エンジニアを目指したい!



人間の社会を豊かにする AIのあり方を見つけたい

創造工学科
人工知能・通信ネットワークコース 1年
磯貝舞桜(いそがい・まお)
(岡山県立岡山芳泉高等学校 出身)

ハリウッド映画を通じて「人工知能の感情」に興味を持ちました。ロボットが感情を持つことで人に寄り添えるようになれば、教育現場などで活用できるんじゃないかと考えています。ロボットと人間が共存し、人工知能が人間同士のコミュニケーションを豊かにしてくれる、そんな社会を目指したい。「クォーター制」は学べる授業の数が多くて、興味があればいろんなことに挑戦できるのもいいところです。

大変だけど楽しい
キャンパスライフ

高校まで「大学生は遊べる」イメージがあったんですが、建築コースは課題が多くて思った以上にハード!でも、それだけ学ぶ機会が多いということだから、毎日がすごく充実しています。

創造工学部

技術を身近に 感じる大学生活

創造工学科 機械システムコース 1年
塚本凜(つかもと・りん)
(静岡県立高等学校 出身)

義肢の研究をしている先生から、技術を生かせば人間の障がいや補える社会を目指せるんだ!と心打たれました。電子機器を使って授業のノートをとるとか、オンラインで課題を提出するとか、大学生活の中でも技術を身近に感じるシーンはいろいろありますね。1年次は機械工学の基礎知識を身につけつつ、必修科目を通じて幅広い分野に触れて、視野が広がってきました。研究テーマを決める3年次までにもっといろんな学びを深めて、研究者を目指したい!



学食のうどんが
おいしい!

「創造」の楽しさに あふれた毎日

創造工学科 建築・都市環境コース 2年
藤原末稀(ふじわら・みき)
(私立岡山芸芸館高等学校 出身)

建築士の祖父の影響もあり、夢は一級建築士。大学に入ってフィールドワークやインターンシップを経験したことで、大きな災害でも壊れない古い木造建築の強靭さを住宅に取り入れる方法や、地域の空き家問題といった具体的なテーマが見えてきました。本学の授業は、与えられたものをつくるのではなく、自分なりに何をどう伝えるか考えながら形にしていく「創造」の楽しさにあふれています。技術が進歩して手作業は減るかもしれないけれど、「人の手」はこれからも不可欠で、どう両立していくかは私にとって大きなテーマです。





三木町農学部 CAMPUS

— 三木町農学部キャンパスで学べる学部 —

農学部

生命現象を科学的にひもとくことで、
人間・自然の調和と現代の社会課題解決を目指す

農学部は、科学的な生命現象を解明して人と自然の融合を目指し、「食糧」「環境」「生命科学」をテーマに現代のさまざまな課題解決を図る学部です。

1 学科5コース制で、1年次と2年次前期までの1年半は導入科目や共通基礎科目などを学びながら、自分のやりたいことをじっくり検討する時期。2年次の後期から「先端生命科学」「アグリサイエンス」「フィールド環境」「バイオ分子化学」「食品科学」の5コース（新コースは2023年4月1日以降の入学から適用）に分かれて、本格的に高い専門性を追求していきます。幅広い理系分野を網羅する総合科学の学びの場であり、自分が選んだコース以外の専門科目も履修できるシステムは一人一人の好奇心を満たしてくれるでしょう。

開学120年を迎えて卒業生は1万人以上、卒業生の約4割が大学院で

分野網羅的な学びの場

農学部は今年120周年!

世界に誇る先進的研究を
次々と生み出す場所

活気ある研究風土と
豊かな国際色

知識と研究技術を磨き込む道を選んでいます。修士課程の修了者の多くが研究開発・技術分野で活躍中です。

香川大が世界に誇る希少糖研究の原点にして最先端であることはもちろん、ワイン用ブドウやキウイフルーツ、酒米などの新品種育成をはじめとする特色ある先進研究が活発な農学部。「国際希少糖研究教育機構 希少糖生産ステーション」「農学部附属農場」「研究基盤センター バイオインフラオマテイクス研究施設」「瀬戸内圏研究センター 庵治守リノベーション」などの教育研究施設が、豊かな研究風土を支えています。

また16カ国1地域・30大学との交流協定があり、留学などの相互交流が活発。全学年を対象に特別な英語科目を開講していて、豊かな国際経験を積むチャンスも多彩です。



昆虫をテーマに 研究者の道へ

応用生物科学科 2年
佐々木一 (ささき・はじめ)
(私立海星学院高等学校 出身)

北海道の山の中で虫に親しみながら育った僕は昆虫の生態に興味があって、社会性昆虫の研究者がいる香川大を選びました。幅広い分野を学ぶ中でも、「一見生存に不利そうな形質がなぜ残っているのか」といった進化のあり方を学ぶ生態学の授業は面白かった!データの統計などにはテクノロジーが欠かせない部分もあり、使いこなす練習が必要ですね。将来は、それぞれの種で特徴的な生活史を持つアリの世界を解き明かしていく研究者を目指しています。



高校とは桁違いの 学びがある!

応用生物科学科 2年
岩崎寛奈 (いわさき・かなな)
(香川県立三木高等学校 出身)

高校の課題研究がきっかけで人間や動物の病気に関わる研究に興味を持ちました。まだ基礎段階ですが、高校生物では簡略化されていた内容をより詳しく、応用的な内容や具体的な手法が学んでいます。コロナ禍でも農学部開講科目は全て対面授業で、対面でも先生が授業を録画してくださったので、後で何度も見返すことができよかったです。応用生命科学コースで動物細胞を研究することが今の目標。疑問に思ったことは自分で調べて理解を深める努力を忘れずにしたいと思います。



部活は写真部
生き物の写真を撮りたい!

120th ANNIVERSARY 農学部

先生と生徒の
距離が近い!

大学の先生はとっつきにくいイメージがあるかもしれませんが、農学部の先生方は気軽に相談しやすくて対応も早く、わからない時は丁寧に寄り添ってくれますよ

海外で知見を広めたい

応用生物科学科 1年
伊澤響子 (いざわ・きょうこ)
(私立大手前高松高等学校 出身)

入学時に興味が定まっていなくても、自分が選みたいコースを2年の後期までじっくり検討できるのがいいですね。私は「未来の食糧生産を考える」講義を通じて環境科学や食の安全、生態系に興味が芽生えています。精密発酵や培養関連など先端技術にも、今後は深くかかわる機会があるのではないのでしょうか。夢チャレンジプロジェクトやネクストプログラムの豊富なチャンスを活用して、1カ月くらい東南アジアに滞在して現地の食文化に触れてみたいとも思っています。





各国の映画を上映したり、留学した学生が現地のことを報告したり、留学生たちが日本の文化を紹介したり一緒にゲームや工作を楽しんだり、さまざまなイベントを積極的に開催しています。ネイティブスピーカーではなく、まだまだ学んでいる途中でも、互いに教え合う立場になれる自由な雰囲気です。こうしたイベントをきっかけに、グローバル・カフェに来るようになる人がたくさんいます。学生たちの輪が自然と広がり、今ではグローバル・カフェ・エスチューデント・コミッティーというチームができています。ハロウィンイベントなど、その学生たちが中心となってイベントを企画・実行することもあります。

学生たちがここに集まるのは、「自分とは異なるもの」に興味があるから。でも、ちょっと恥ずかしい…と入口の前でためらっている人をよく見かけます。そういう人々には、グローバル・カフェにいるみんなが気さくに声を掛けるんです。もともとここで友達になった人ばかりで、一番最初が一番緊張するのを知っているから、しっかりサポートする。初めての人が入ってきたら自然と自己紹介で迎え入れるし、自己紹介イベントを開催することもあります。自信がなさそうだった学生も、今は新しい来館者に「ようこそ!」と明るく声を掛けていますよ。

**対話を通して自分を見つめ
心をオープンにしよう**

私の専門は哲学で、エコフェミニズムなどの環境哲学や子どもの哲学を中心に研究しています。いずれも「対話」を重視する分野です。自分自身の意見や問題は対話の中で整理できる、「聞く」ことがお互いにとって



留学報告イベント

重要だという姿勢は、グローバル・カフェのあり方とも共通するところがありますね。ここで出会った友達と色々な話を話し、自分の視野を広げることは、ダイバーシティへのきっかけです。最初は仲良くなることから始まりますが、交流の本当の目的は「EXPANSION(拡張)」です。グローバル・カフェは人々のバリアをなくし、自然な相互交流を通じてお互いを深く理解することができ、「対話」の場。部活ではなく、食堂や喫茶店でもない、授業とは違った自然な学びが得られるチャンスに満ちています。

私が学生たちに伝えたいことは、とにかく「Come & Try!」。自分を誰かに「Expose(公開)」することは、自分のチャンスを外に開くことでもあります。「国際」という言葉には「外側・外国」というイメージがあるかもしれませんが、日本も「国際」の一部だと体感して、豊かな国際マインドを形成してほしいです。自分をオープンにして誰かと心をシェアするきっかけが、きっとここでつかめますよ。

グローバル・カフェ教員(コーディネーター)

Benn Johnson

ベン・ジョンソン

アメリカのノースダコタ州出身。Ph.D.(哲学)。専門は環境哲学とエコフェミニズム。子どもの哲学(P4C)の研究者であり実践者。ノーステキサス大学哲学・宗教学科卒業。同大学修士課程、博士課程修了。2022年から現職で、学生の国際交流の支援や、国際イベントの運営、専門性を生かした様々な授業を行っている。



グローバル
カフェセンター
のHPはこちら▶▶▶



**対話が、こころを開いてくれる。
あたらしい自分を、ここで見つけよう**

国籍も年齢も性別も関係ない! あらゆる属性を超え、多言語レッスンや異文化交流イベントを通じて自由に交流できるアクティブ・ラーニング・スペースです

GLOBAL CAFÉ CENTER

**授業とは違った学びがある
多国籍コミュニティ**

グローバルカフェセンターは、「国際研究支援センター」「留学生センター」とともに、香川のインターナショナルオフィスを構成する3つのセンターの一つです。2014年に開設した「イングリッシュ・カフェ」がベースにあり、当時は実践的な英語コミュニケーションを通じて留学生と日本人学生が交流を深める場でした。2019年、英語に限らない多言語・異文化交流の機会をつくり、グローバル化の進む社会で活躍する人材育成を目指して「グローバル・カフェ」に名称を変更。学内での交流だけでなく、海外留学や海外協定校との連携拠点として、地域のグローバル化に貢献するグローバル・カルナコミュニティを形成しています。

グローバル・カフェは、あらゆる属性の人たちが自由に、気軽に集える場所です。学内外のいろんな先生が英語だけではなく韓国語、中国語、スペイン語、フランス語など多国籍の言語を教えるクラスがあり、もちろん日本語を学びたい人もいます。語学のほか、



グローバルカフェセンター北側外観

大学時代の行動は「種」 大輪の花が咲くときが きつと来る

人気YouTuber「瀬戸内サニー」として精力的に活動する大崎さんの行動力のルーツは、大学時代。広い世界を知ったからこそ見えたもの、果敢に仕掛けていったからこそ実を結んだこと…。チャレンジし続けた大学時代の思い出を語ってもらいました。



もっと、面白くしたい



トレードカラーの黄色や全身タイツの由来は「太陽のような人を笑顔にする存在でありたい」という意味を込めています。



アメリカ留学時代のクラスメイトとの交流の様子

瀬戸内サニー株式会社代表取締役&YouTuber
大崎 龍史 (おおさき りゅうし)

兵庫県上郡町出身。2014年香川大学教育学部卒業。東京のWeb系広告代理店やヤフー・ジャパンなどによる合併会社でメディア戦略を担当。2018年1月に「瀬戸内サニー株式会社」を設立。企業へのデジタルマーケティング支援事業、学校現場や自治体への教育事業を展開。YouTuberとしても活動し、2021年にはGoogle社が選ぶ社会的・文化的・経済的に有意義な影響を与えた日本のYouTubeクリエイター101人に選出。好きなうどんは「かけうどん」。小中高教員免許第一種(理科)。

外の世界へ飛び出して 切り拓いた可能性

香川大に入ったのは、ぶっちゃけ、受験で失敗したからです。志望校を切り替えた時点で願書を用意できた総合大学が、香川大と長崎大学でした。うどんとちゃんぽん、毎日食べるならうどんだな…というわけではないけど、学べる分野が広くて国際的な連携協定もあって、なかなかいい環境だなと思います。教育学部へ。

私のような事情で香川大に来た学生にとって大事なのは、「入学した後で何をするか」です。私は受験の挫折が自分を変えるきっかけになり、入ったからは自分の可能性をどこまで追求しようと、学業以外にもいろんな活動を展開しました。信頼できる先生方と果敢に活動する先輩方との出会いが、背中を押してくれ、とても感謝しています。

学内で友達と仲良く過ごすだけではダメだ、外の世界を知りたい!と思っていたものの、大学1年まで日本を出たことがなく、2年の夏休みにニュージーランドに2カ月留学したのが初の海外体験。これが引っこ込み思案だった自分を変えるきっかけになりました。

りました。香川大がチェンマイ大学と連携する際のプレ留学では交換留学生として1カ月タイで過ごし、「外から見る日本」を初めて意識したのもいい経験でした。

3年からは教育実習がスタート。生徒たちには間違ってもいいから挑戦する心を育ててほしくて、主体性を重視する指導に打ち込みました。現場の先生方には「君が教師にならないのはもったいない」とまで言ってもらえたものの、「もっと社会や教育にインパクトを与える仕事をした」と思うようになり。そこで、思い切って2年間の休学とアメリカ留学、いわゆるポジティブ休学を決意。私は今30代ですが、10〜20代の体験は30代以降の体験よりもはるかに価値があると思います。多少無理をしても、若いうちにチャレンジする方が絶対いい。当時はあまり理解されませんでした。私を応援してくれたユニークな先生方のおかげで決断できました。

私が滞在した2011年前後のアメリカは、シリコンバレーからどんどん起業家が生まれ、iPhoneが台頭し、スティーブジョブズが亡くなり、オバマ大統領が誕生し、SNSが黎明期で…と、爆発的に世の中が変化していた時期。現地で名だたる企業の

人々に混ざり、時代の活気をリアルに体験できる幸運に恵まれたのも、自分で行動を起こしたからだと思っています。

1年半アメリカで勉強し、SNSで仲間になったメンバーと東京でシェアハウスをしながら半年のインターン生活を送って、大学に復学しました。出身は兵庫県ですが、香川は私にとってふるさとです。外を知ってから戻ると、瀬戸内の風景や食文化の魅力にあらためて気づくことも多く、SNSを通じて香川の魅力を発信するコンテンツを企画したり、東日本大震災のボランティアツアーを主催したり、ギネスブックの記録に挑戦したり、とにかく「今までにないことを学生主体でやろう」とチャレンジし続けました。

社会には、案外ルールがないんです。とりあえずやってみるのが大事で、それをちゃんと受け止めてくれる地域の方々の懐の深さも実感します。地方は挑戦者が目立つチャンスも大きいかも知れません。私が学生時代に第1回香川ビジネスパブリックコンペで提案したこと、今会社をつくらせて取り組んでいることの軸はほとんどブレしていません。当時の構想と、あの頃に育んだ人間関係が、全部今につながっています。大学時代の行動は「種」。いつ芽生えるかわからないけれど、

ど、「人生の伏線」として回収され、花開く時がきつと来ますから、たくさんまいておいてほしいです。

正しく使いこなせば 技術は強い武器になる

私の活動の場であるYouTubeをはじめ、インターネットやSNS、進歩目覚ましいAIなど、今や私たちの身の回りには当たり前のようにテクノロジーがあふれています。テクノロジーを吸収して自在に活用するスキルは、若い人ほど高いでしょう。地域を超えて自分の可能性を支えるツールとして、これらを「どう使いこなすか」「これを使って何ができるか」を考えてほしいです。テクノロジーは使い次第で素晴らしい料理もつくれるけれど人を傷つけるかもしれないナイフのようなもの。それを使う「人」を磨くことを忘れてはいけません。

「挑戦」と「臨機応変」は人間の強みです。テクノロジーがあれば場所を問わずチャレンジできる今、大学生には「自分がどう生きるか」をちゃんと考え、しなやかに軽やかに変化に対応しながら、時代の波を乗りこなしてほしいと思っています。



教育者・書家・研究者として書道の発展に貢献

「文字を書く」ことの豊かさを 藤原鶴来先生に学ぶ



藤原鶴来

1893(明治26)年、岡山県玉野市生まれ。本名・茂。岡山師範学校(現岡山大学教育学部)で詩書家・大原桂南に学ぶ。岡山第一中学校教諭を経て、1922年から定年まで香川師範学校・香川大学教育学部で教授として書道教育に打ち込むかわら、「和漢書道史」「書源」などを編纂。代表作は中国陝西省西安市青龍寺の「空海記念碑」、香川県内にも多くの墨跡が残り、文部大臣による「地域文化功労者」表彰をはじめ高い評価を受けた。

藤原鶴来写真 出典:鶴来先生墨蹟集(平成5年3月30日発行)

日本の書道史に残る
ベストセラーを編著

藤原鶴来は幼い頃から書に興味を持ち達筆である一方で「教師になりたい」という思いも温めていました。1922年から36年間、香川師範学校・香川大学教育学部教授として空海その他の有名書家の研究に徹し、多くの書作品と研究成果を残すとともに書道教育に尽

力されました。鶴来の書道哲学は多くの門下生に強い感銘を与え、有名な書道家を輩出させています。大きな目、白い歯を出してやんわり笑う姿が印象深かったと今に伝わります。

香川県庁銅標や四国村の額以外にも、高松市内を中心に県内には鶴来のたくさん作品を石碑や標柱としてみることが出来ます。なげなく通り過ぎてしまいがちです

が、あらためて見ると力強く堂々とした風格とともに読みやすさと親しみやすさを感じる作風です。

「私たち世代の書に携わる人間にとって、鶴来先生は伝説的な存在です」と、教育学部の小西憲一教授。香川大の3代目書道専任教員です。「鶴来先生には、教育者・書家・研究者という3つの顔があります。最も知られている業績は、研究者として残した『和漢書道史』『書源』

などの編著でしょう」。

鶴来は多くの書道関連書を出版し、我が国の書道界に大きく貢献しています。中でも1927年33歳の著作「和漢書道史」は、書道史をわかりやすくまとめた解説書です。当時、文部省検定・中等教員習字科受験のためのまとまった書道史のテキストがなく、全国の受験生のためにつくったものです。

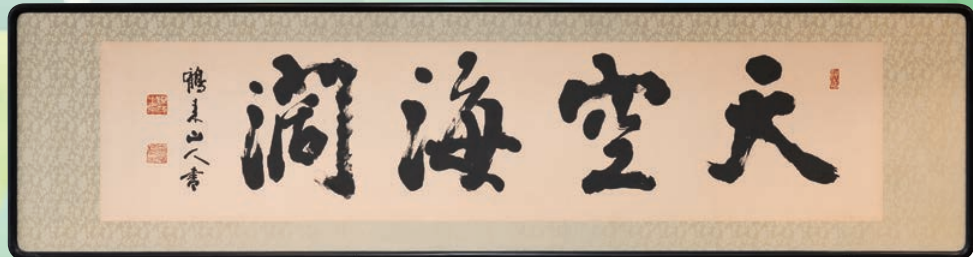
『書源』は古典文字を原寸サイズで「文字二文字切り貼りしてまとめた1,600ページ超の大作。戦前から制作を始めたようですが、編集の原稿が高松空襲で自宅もろとも焼失し、76歳で完成するまで35年を要しました。書体字典の金字塔として今も広く愛用され、『和漢書道史』と並んで書道界の双壁とされるベストセラーです。



香川県庁銅標

記念碑に込めた 空海への想い

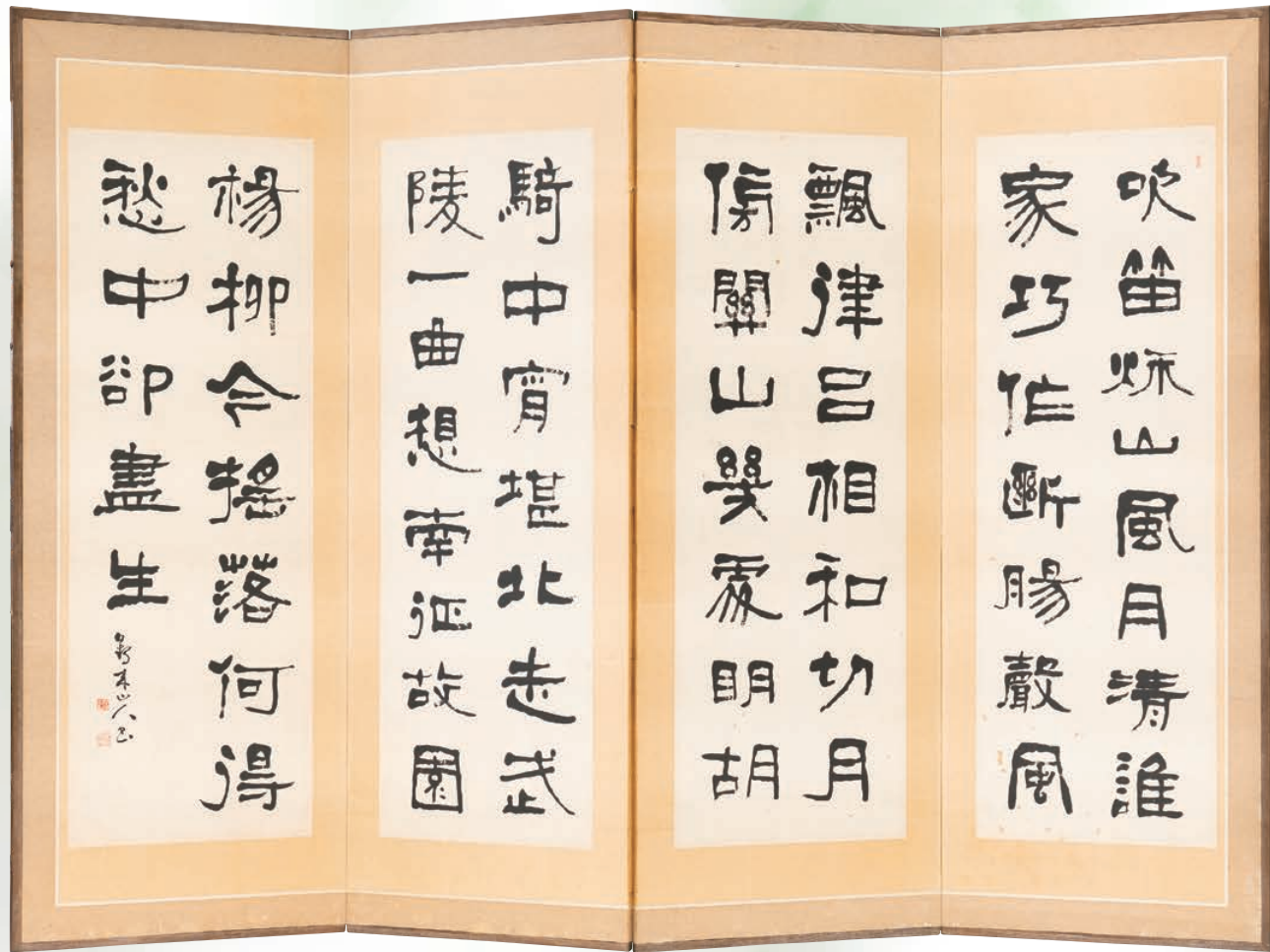
数多い鶴来の墨跡の中でも代表作とされるのが、中国陝西省の青龍寺にある「空海記念碑」。青龍寺は空海



「天空海闊」藤原鶴来

香川県知事応接室に掛かっている扁額。「天空と海がはてなく広々としている」様子を表す言葉で、転じて「度量が大きく何のわだかまりもない」ことも意味する

が密教を学んだ地であることから、四国八十八箇所のお参り所としても知られています。この記念碑は四国と西安市の友好親善事業で1982年に建立された石碑です。三筆にも数えられる書聖・空海の記念碑を揮毫するにふさわしい書家として選ばれた鶴来は、大きな使命感とともに制作に打ち込みました。「鶴来先生が得意とした重厚な隸書体で、空と海の雄大なイメージ



杜甫『吹笛』藤原鶴来

昭和二十五年、日展出品作。香川大学教育学部所蔵。杜甫の詩を得意の隸書で書いています。鶴来は器用な人で、屏風仕立ても含めた表装はすべて、自ら刷毛(はけ)をもって行っていたそうです。

だけでなく空海に対する強い思いがうかがえる、奥行きのある作品です」と小西教授。記念碑は高さ9メートル、実際に下から見上げた時に美しく見えるよう計算したバランスで書かれています。

教育の場における 「書道」の役割

「私自身も教育者として、子どもたちに『手で書く』『字を書く』楽しさを伝えられる教員を送り出したと思っています」と小西教授。「文字は教育の最初の入口であり、人類の進化を支えてきたコミュニケーションツールです。字を書く時に活性化される脳の働きは、液晶画面のタップでは生まれません。教育者は手間暇かけて文字を完成させる楽しさと、書が持つインパクトを大切にし

てほしい。空海は「古人筆論云、書者散也」という言葉を残しています。これは、空海が中国の古い書論を引用しながら述べたもので、「書」というものは「散」である。自分の中にある思いを解放し、森羅万象を表現するものである。」という意味です。私自身も、書を通じて自分の中にある思いを開放したい、という気持ちだけはずっと持ち続けています。」

文字もAIもツールとして使うのは人。どう使い、何を表現し伝えたいのか。テクノロジーが進化する現代社会だからこそ、自分の心を自由に表現する豊かな「書」の文化を改めて見つめてみてはいかがでしょうか。



「書者散也」小西憲一 2018年69cm×70cm



「お話を伺いました!」

香川大学教育学部教授 小西 憲一(こにしけんいち)

広島市出身。筑波大学大学院芸術研究科美術専攻修了。神奈川県立高校教諭、筑波大学技官、助手を経て、1995年に香川大学教育学部講師。助教授を経て2005年より現職。担当は書写書道。専門は篆刻。日展会友、毎日書道展審査会員。

人×テクノロジー 次の進化への挑戦

「人×テクノロジー
次の進化への挑戦」

AIを活用し、空海の筆跡を再現。空海の書に関する文献を機械学習させ、ゴシック体の文字をベースに今号の表紙テーマを作成しました。(岡崎准教授(P22-P23)が小西教授の協力を得て作成。)

Next Innovation.

香川大学発 研究シーズ活用レポート

廃棄物の再生利用から最先端の検査技術まで
脱炭素社会のニーズに応える
分野横断的なコラボレーション

たとえ予想とは違う結果が出て、それが次の研究のシーズとなることもある。ここは産業の現場に貢献し、よりよい社会をつくる研究の最前線。ID研の自由な研究風土が、それを後押ししています。



香川大学イノベーションデザイン研究所
香川大学創造工学部 准教授

岡崎 慎一郎 (おかざき しんいちろう)

香川県高松市出身。
香川県立高松高等学校卒業、京都大学工学部卒業、東京大学工学系研究科社会基盤学専攻博士後期課程修了。博士(工学)愛媛大学講師、(独)港湾空港技術研究所研究官を経て、2015年4月より現職。専門はコンクリート工学。

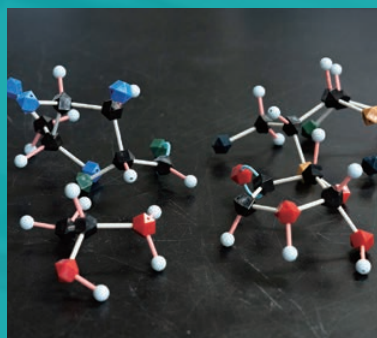
《研究シーズ活用のご相談は》

香川大学産学連携・知的財産センター
〒760-8521 香川県高松市幸町1-1
TEL.087-832-1672(代) FAX.087-832-1673

本学研究者の研究成果は、HPより確認できます。
<https://www.kagawa-u.ac.jp/faculty/centers/23894/>



圧倒的にイノベティブな風土を生かして 「これまでにないもの」を次々と生み出せる場がある



希少糖の分子構造模型

希少糖配合建材は 応用の道も幅広い

私の研究は、建築・土木工学分野における「新しい建築材料の開発」と「構造物の検査技術」を大きな軸としています。

建材開発では、コンクリート建材を対象とする「廃棄物の土木分野への活用」がテーマ。コンクリートの成分は7割が石ですが、砕いた石を接着剤としてくっつけているのはセメントです。セメントは石灰石を燃やしてつくりませんが、燃やすと二酸化炭素が発生するため、脱炭素社会を目指す上ではあまりよくない。そこで、セメントのかわりに石灰火力発電の副産物である「灰」などの廃棄物を使うというアイデアが生まれました。

石灰火力発電で生じた灰は重金属を含み、適切に処分しないと公害リスクがありますが、コンクリートに入れてしまえば重金属は流出せず、しかもコンクリートの精度を高めてくれるんです。電力会社は廃棄物を建材として活用でき、コンクリート学

者は二酸化炭素を出さずコンクリートの性能を高める材料が入る。積極的に再生利用して、こうと産官学で検討し、県内で既に実装も広がりつつあります。

さらに香川大のイノベーションデザイン研究所(ID研)では、コンクリートに二酸化炭素を固定させるアミノ酸や、香川大が誇る希少糖研究にも着目。希少糖を使った食品は広く流通していますが、賞味期限が切れたものは売り物にできず廃棄されます。それならコンクリートに混ぜてみてはどうか、という発想です。希少糖の作用で土壌に含まれる発がん性物質を改善する研究、生セメントの固まる速度を希少糖で制御する研究、希少糖を含むコンクリートを海で活用する研究なども進んでいます。

もう一つの軸である「検査技術」は、「構造物の安全・安心をどうチェックするか」がテーマです。熱情報を可視化するサーモグラフィという技術がありますね。同じように、熱以外で可視化するID研石丸教授発の赤外分光技術を応用し、コンクリート構造物の表面にどのくらい塩がついているかを可視化するんです。コンクリート構造物を支える鉄骨は塩に弱いけど、パッと見ではどこが弱っているかわかりませんから、大きなドリルを使って大規模な検査をしているのが現状です。でも塩がたかさんについている箇所がわかれば、どこを調べるべきかが絞れて、コンパクトな装置で検査できる。こうした検査精度を向上させる技術を国交省の支援の下で進め

ていて、うまくいけば実装される見込みです。

また、創造工学部造形・メディアデザインコースの先生方と一緒に、「力学的に強い橋はデザイン性も高い」という仮説の下、より安全な橋の造形の研究も進めています。数学的・物理的に安全とされる「黄金比」は、デザイン的にも優れていることが多い。感性と数学を融合させる取り組みと言えるでしょう。

ID研と希少糖研究。香川大が誇る先端研究のさまざまなコラボレーションは、分野の垣根が低い香川大の環境をフルに生かした例です。学生と企業が一緒にチームとして取り組む共同研究や、企業人の大学院進学を歓迎する風土もあるし、互いに刺激し合い専門性を追求しつつ、ビジネスレベルでの実装を視野に入れた学びが深められる場だと思っ。ID研を核としてこれまでにないイノベティブな研究を強力に推進できる環境があることを、学生たちに広く知ってほしいですね。

AIを活用した 橋の検査技術開発で 二ツちな強みを発揮

土木工学分野で私が先端的だと自負しているのは、「橋のカルテ」です。橋は5年に一度の点検が義務付けられていて、全国約70万の橋をすべてチェックするのは時間的にも人員的にも難しいジレンマがある。そこでAIの出番です。

これまで人の手で行っていた検査工程を自動化するシステムがトレンドですが、私が取り組んでいるのは「カルテの分析」。人間の病気を診断するように、膨大な橋のデータから類似例を参考に将来的な「橋の健康度」の推移を自動予測するシステムです。8万ページを超える紙データを二つ入力する地道な作業から始まり、橋の専門知識や土木の常識も学ばせました。既に四国内の橋のモデルは完成していますから、今後は全国に展開していきたい。地味ですけど、同じことをやっている人がいない二ツちな強みを発揮しています。

実感として、AIは70〜80点の仕事をしてくれます。しかし人の命を預かる工学の分野では、常に90点以上が求められます。「万が一」を守るのは、AIが正しいかどうか判断できる技術者の力。これを肝に銘じつつ、AIがつくってくれる「学びやすい環境」をうまく活用して高速で基礎を身につけるのが、AIとの上手な付き合い方ではないでしょうか。

人×テクノロジー 次の進化への挑戦

「人×テクノロジー 次の進化への挑戦」 AIを活用し、空海の筆跡を再現。空海の書に関する文献を機械学習させ、ゴシック体の文字をベースに今号の表紙テーマを作成しました。(岡崎准教授が小西教授(P20-P21)の協力を得て作成。)

これからの
防災
disaster prevention

ネクストプログラム・防災士養成プログラムのボランティア活動
西日本豪雨災害被災地（愛媛県西予市・宇和島市）
支援活動



2023年7月 交流会に協力してくれたNPOメンバーと共に集合写真



2018年12月
宇和島市吉田町玉津共選場会議室
共選場長から、玉津地区およびみかん農家の
被害状況について説明を受ける参加学生たち



2019年12月
地域イベントの手伝い



2020年10月
被災した園地（みかん園）の復興状況の見学



2021年12月
みかん農家さんと



2022年12月
土の流出を防ぐための土のうを作る学生たち



2023年3月
交流会での「そめん炊き出し」の様子

2018年7月の西日本豪雨により被災した愛媛県宇和島市吉田町玉津地区。香川大では、発災2ヶ月後からネクストプログラム・防災士養成プログラムの参加学生を中心に被災地に駆けつけ、みかん農家を支援したことをきっかけに、今でも現地被災状況の視察や災害ボランティア活動を通して交流が続いています。

当初は、被災の状況を目的に当たりながら、みかん園地や農道に溜まった土砂の撤去や土のう積みなどの作業を行っていましたが、時間の経過とともに災害復興作業に移行。災害直後の復旧活動を経験した学生も経験したことがない学生も、現地農家の方から当時の被災状況の話を聞き、復旧・復興工事を見学することで、災害からの復旧とは何かを知った上で被災地が復興していく様子を学んでいます。

2023年3月には、みかん農家及び玉津地区の方々に感謝を伝えたく、ボランティア活動のうち1日を交流の機会として、「小豆島そめん」の炊き出しや子ども広場、交流カフェなど開催しました。参加者からは「二人ひとりの想いを知る

2023年7月の活動報告はこちら

ことができ、心が温まった」と喜びの声をいただきました。さらに、同年7月、みかん農家の摘果作業を手伝うボランティア活動に教職員約30人が参加しました。今回が6回目の訪問となった大学院1年生で防災士の國土真希さん（巻頭P1）は、「豪雨から5年たちましたが、いまだに被災地では影響が続いていると感じます。私たちがができることは小さなことかもしれませんが、少しでもみかん農家の方の力になればと思います」と話します。

被災の爪痕は施設や資金等のハード面だけではありません。現地の方々の気持ちの移り変わりを伺い、寄り添うことで、「思いやり」という目に見えない優しさの連鎖が生まれ、ソフト面で復興の一助となっているのではないのでしょうか。災害とどう向き合うか、様々な観点から学べる活動です。

- 防災ボランティア活動実績 ——
- 2016年「平成28年熊本地震」（熊本県益城町、南阿蘇村他） ●2017年「平成29年7月九州北部豪雨」（福岡県朝倉市）、「台風18号」（香川県多度津町）
 - 2018年「平成30年7月豪雨」（愛媛県西予市、宇和島市） ●2019年「令和元年東日本台風」（長野県豊能町）
- 上記の被災地で災害ボランティア活動等を実施。また、災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練や、被災地住民との地域交流や被災地で提供可能な炊き出しメニューの考案を目的とした、調理手順の検討及び炊き出し研修等も実施している。

新設！大学・地域共創プラットフォーム香川

Platform KAGAWA

オール香川の
産官学で取り組む
人づくり・地域づくり

香川県の人口は2023年現在約92万人。30年前に比べて約10万人減少しています。また、香川県内の高校生が県内の大学に進学する割合は20%以下（22年現在、県内の大学生の県内就職率は約40%（20年現在）。つまり、香川県の若者がどんどん少なくなる一方で、県内で育った人材の多くが県外に流出しているのです。

しかし、地域を支えるのは「人」の力。プラットフォーム香川は、地域社会・経済を支える人材を育成し、彼らが地域で活躍できる場を創出するためにつくられた産官学の共同体です。香川大を事務局とし、議論と実践を繰り返しながら地域社会の発展を目指します。

プラットフォーム香川は、今まで経済団体・自治体・大学がそれぞれ独自に行っていた



取組を集約し、互いの強みを活かして、多角的な見地から議論を深めつつ課題解決に取り組む、まったく新しい共創の場です。特に、県内大学等地域全体にダイレクトにアプローチできる環境がユニークなところ。事務局を務める香川大は、産官学連携や学生たちの主体的な地域貢献活動が活発な風土を生かすことで、地域に「人のかかわりをつくる・広げる」のが主な役割です。

設立1年目で各部会の取組はまだまだこれからです。



「大学・地域共創プラットフォーム香川」令和4年度第2回総会

が、23年度は22年度に実施した大学生や自治体職員、企業経営者などによる「若者が定着する香川を目指して！」をテーマとするアイデアソンで提案された「大学生主体の観光情報の発信」の企画を実施します。参加する学生にとっては、自治体や企業といった学外と交流するチャンスであり、立場の違う人たちが話し合っって経験を共有しながらひとつの企画を練り上げていく貴重な体験の場となると思います。

今後は広報活動にも力を入れて「若者が活躍できる香川」に向けたチャレンジを広くPRし、活気ある香川の実現を目指していきます。

大学・地域共創プラットフォーム香川の構成

大学・地域共創プラットフォーム香川 事務局
香川大学地域創生推進部 地域連携推進課（香川県在籍出向）
児玉 隆（こだま たかし）

- 総会**
- 運営委員会**
- 事務局** 香川大学
- 進学・教育部会**
 - 県内高等学校との連携
 - 県内大学等の情報発信
 - 県内進学の促進
 - 教育の向上
 - 幹事 徳島文理大学
- 就職・産業振興部会**
 - 県内企業への就職促進
 - 地域と県内大学等の連携による共同研究
 - PBL（課題解決型学習）及びリカレント教育の促進
 - 幹事 香川大学
- 地域活性化部会**
 - 地域社会を支える人材の育成及び人材の定着
 - 県内大学等と連携した地域づくり
 - 地域の連携促進
 - 幹事 香川県

県内高校等との連携・県内大学等の情報発信・教育向上など、大学が主体となって県内進学促進を目指す。

県内就職を促進するとともに、地域企業と県内大学等が連携する共同研究やリカレント教育の推進に取り組む。

地域を支える人材育成とその定着、大学と連携した地域づくりなどに取り組む。

- 「若者の定着する香川を目指して」をテーマにアイデアソン（対話を通じてアイデアを出し合うイベント）を実施。提案されたアイデアを23年度に実践していく予定
- 就職活動中の県内大学生に、就活や県内就職に関するアンケート調査を実施

県内大学・短期大学・高等専門学校の情報を網羅した「キャンパスガイド（香川進学BOOK）」を制作

「業種別オンライン県内企業見学ツアー」「かがわくフェア」「キャリア支援研修会」などを企画・実施して県内企業の情報発信

企業担当者とはアバターで気軽に交流できる場として、メタバースを利用した「オンライン県内企業見学ツアー」を23年8月に実施予定



寛 大学にはそれぞれの学風があると
言われます。学風というと格好良すぎ
るので「出し汁」の様なものかも知れま
せん。学長になるに当たって、香川大の
学生に香川大ならではの「出汁」が沁み
てほしいと思いました。卒業生は就職先
で「規律正しく我慢強い」と高評価で
すが、ひねくれた私は「もうちょっとイン
パクトのあるプラスアルファが欲しい」と
思う。やたら元気がよくて、怖いものな
しで上司にバンバン提案する、まるで野
口さんのような人材を育てるための
キーワードが「デザイン思考」と「柳のよ



らえました。コロナ禍で文科省との会
議もオンラインになって、香川大の先生
方が全員参加でき前向きな姿勢を伝
えられたのもよかったです。学長としての6
年間は半分以上がコロナ禍と重なりま
すが、損をしたとは思っていません。

**香川大生らしい
インパクトを醸成したい**

寛 それに偏差値で計れない力です。ど
この大学にも熱心な学生は一定数いて、
それを刺激して増やせるかどうかが大
学の力でしょう。デザイン思考でいいアイ
デアを出すには、年齢も国籍も多様な
方がいい。創発科学研究所で社会人や
香川大職員を受け入れているのも多様
性のひとつです。3割が地元出身で年
齢的にも似通っている香川大に、たとえ
ば首都圏の学生、女子大生、単科の農
業大学生などが混ざるだけでも互いに
刺激になります。必ず効果があると思っ
て、積極的に交流を進めました。18歳人
口が減少していく中で地方の国立大学
が多様性を確保するには、ますます「外
から呼び込む」方向に進むでしょう。

うにしなやかに」です。どんな危機が来
るかわからない世の中で、人の役に立ち
ながらたくましくやっていくには、元気
よく提案する裏でちゃんとリスクマネ
ジメントができる、したたかな人間に
なって欲しい。最近では企業の人事担当
者から「香川大の学生はよく発言して
くれる」と聞くようになり、ちょっと出
汁が沁みてきたかなと感じています。

野口 「柳のようにしなやかに」は、リ
スクマネジメントとともにレジリエンス
にもつながりますね。アントレプレナー
の起業部ができるなど、今までなかった
動きも生まれています。



香川大学長
寛 善行
かげり よし ゆき

【インタビュー】
企画総務部次長
野口 里美
の くら さと み

寛学長単独インタビュー

KAKEHI'S TALK Cafe

大学改組やコロナ禍… 激動の6年間

野口 2017年10月に学長に就任さ
れて、私は教育学部で教職大学院の立
ち上げにかかわった後、大学改組で学長
とガッツリ一緒させていただきました。

寛 理事時代から8年、ありがたいこ
とに大学改組の責任者を務めさせて
もらえました。創造工学部、医学部、
経済学部、農学研究科…大学全体で
新学部や研究科が一斉スタートしたの
が2018年4月。他大学から2年
遅れの改組で、結構むちゃくちゃ走り
ましたね。経験豊富な野口さんがかか
わってくれるタイミングもよかったです。ご
自分が納得しないと前に進まないけ
ど、いったん切り替わると早い人だか
ら、大変助かりました。

野口 教職大学院、地域マネジメント
研究科、ロースクール、創発科学研究
科、医学部臨床心理学科の修士課程
と、多くの改組にかかわる機会をいた
だきました。創発科学研究所は2022
年スタートでした。

寛 あの時も文科省とのやりとりが大
変でしたが、高等教育をよりよくした
と思う気持ちはきつと同じ。ちょうど
世の中が学問の領域を縦に閉ざしてい
てはだめだと認識し始めていた頃でも
あり、損得勘定抜きに心から「やりた
い！」と思う我々の意欲を理解しても

**大きな研究を育む
分野横断の風土**

寛 香川大には有名な希少糖研究以
外にも、微細構造デバイス、中赤外分
光分析をはじめ非常に先端的な研究
が多数あります。ただ、全体的に横のつ
ながりが希薄でした。私は大学院の4
年間を基礎研究室で過ごし、医学部以
外の人や企業の研究員と接する機会
をたくさん得て、広い視野を培いまし
た。予算が潤沢でトップレベルの科学誌
にバンバン論文を出す大きな大学と、
予算も研究員も少ない地方大学が同
レベルで戦っていくには、分野を横断す
る横のつながりを学外にまで広げて大
型化を図るべきです。大学院時代の経
験が創発科学研究所やイノベーション

デザイン研究所（ID研）の発想の源で
あり、香川大の分野横断の風土を創り
出してきたようにも思います。

野口 22年には産学共創リサーチ・
ファームも採択されました。

寛 実際に「横」をつなげてみて、いく
つか新しい芽も出てきています。それを
発展させるのが今後の重要課題とな
るでしょう。私自身にとっては、ID研
立ち上げに当たって、生まれて初めて
本気の寄付金集めに奔走しましたが、
そこで県内企業の方々と知り合えたこ
とが今も生きています。単なる資金集
めではなく、大学と企業の方々との距
離が近くなる良いきっかけになりました。



野口 それは「愛」ですか？

寛 大きい意味では愛です。大学も臨機応変に対応できる組織でなくては、激しい変化についていけなくなります。そういう点で、「変化しやすく、こだわらない」創発科学研究科の体系はフィットしているかもしれませんね。

香川大は新しいテクノロジーをどんどん開発しようとしているけど、先日、「文化的処方」について東京藝術大学の日比野克彦学長と話していて、「世の中に愛されるイノベーションには必ずアートが



爆発的なイノベーションは「燃える心」から生まれる

寛 危機にあふれた未来をしたたかに生き抜き、人々に幸福感をもたらす人材を育成するに当たって、どうしても切り離せないのが人工知能の話です。2050年に今の仕事の半分はAIに取って代わられる予測がありますが、最近はずっと厳しく、今まで安泰だと思われたクリエイター業

**人の心を打つのは
技術ではなくアート**



です。AIが台頭する時代。私の専門である医学の領域も、病氣自体がなくなることはないでしょうが、医療にAIやロボットが入ってくるのは間違いなく、今と同じことをしていても生き残れない人が出てきます。しかし、あらゆる職種でそうなるっていくことを、私はそれほど悲観していません。地球上で生きる主体が人間であり生物であることは、病気がなくならないのと一緒なんです。

介在している」という点で大いに共感していました。アップルの商品が象徴的です。背景にはものすごいイノベーションがあるんだけど、ハートを打つのは技術ではなくフォルムや手触りで、日本人がアメリカ人以上にアップルの製品を使うのも、どこかで心を掴んでいるんだと思う。爆発的なイノベーションを仕掛けたいなら、ユーザーの心に火をつけなくてはいいけない。イノベーションは成果ではなくて発明の手法や過程のことであり、テクノロジーとアートのかけ合わせそのものかもしれません。イノベーションに日本語訳を当てるなら、「文化的×科学的処方」といったところでしょうか。

野口 最後に、香川大を目指す学生たちにメッセージを。

寛 学生たちには香川大でいい体験をしてもらいたいし、我々には「入学してよかった」と思える学びを提供すべき大きな責任があります。受験生の皆さんには大いに期待していますよ。ぜひ飛び込んでください。ここで何かを掴むのはあなたです！

野口 AIがさらに進歩したら、大学もカリキュラム体系を変えていくべきですか？

寛 医学の世界は特に変化が激しいので、そうなる可能性はあります。私が大学を卒業した1980年代初頭は、医学の情報が2倍に増える時間が7年と言われましたが、2020年代は73日だそうです。一つの情報の寿命はせいぜい5〜7年、専門知識も相当リニューアルされていくので、大学も年中同じことを教えているわけにはいかなくなります。そこをカバーするのがAIなのではないかと感じています。

野口 映画や小説などエンターテインメントの世界では、症状を入力したらAI診断してくれる医療描写もあります。ああいう技術が進歩した場合、医師には別の能力が求められるのでは？

寛 医師が電子カルテの入力画面ばかりを見て目の前の患者を見ない、という指摘は以前からあるんです。カルテは口で喋れば文字になる時代だし、本当に見るべきは目の前の患者さんですから、「頼れる医師」像は昔に回帰して

いくと思いますよ。翻訳なども、自動翻訳機が進化していますが、人の心を伝えるのは機械ではありません。

野口 なくしていいものとなくしてはいけないものがある中で、大学はどう考えていけばよいでしょうか。



寛 情報量が爆発的に増え、人間の頭で全部処理するのは無理ですから、機械もAIも躊躇なく徹底的に利用して作業時間を短縮するべきです。しかし、コミュニケーションを成立させるには何らかのプラスアルファ、つまり人間の工夫が必要です。AIにできることできないことを見極めて、AIが出してきたものを翻訳し、最終的に「ハートにタッチ」させるのは人間の力なんです。





大学の主な出来事

【10月】香川大学学長に就任

【4月】創造工学部を設置
医学部臨床心理学科を設置
経済学部改組
農学研究科改組
産官学連携統括本部を設置
学長戦略室・IR推進部を設置

【10月】イノベーションデザイン研究所を設置

【4月】総合教育棟(通称DR1棟)を設置

【8月】瀬戸内国際芸術祭2019へ作品出展
プロジェクト名:香川大学×小豆島夢プロジェクトチーム
「演劇でみる小豆島のカタチ」
作品名:「トラと呼ばれたサル」【写真1】



【9月】瀬戸内国際芸術祭2019へ作品出展
プロジェクト名:香川大学×小豆島夢プロジェクトチーム
「演劇でみる小豆島のカタチ」
作品名:「蛙の池の今昔物語」

【4月】教育学研究科の教職大学院二元化
大学院医学系研究科臨床心理学専攻(修士課程)を設置

【3月】中四国・九州発!香川大学公的
統計ミクロデータオンサイト施設(通称:KadaStat)を開設



【3月】大学・地域共創プラットフォーム香川を設立【写真2】

【4月】大学院創発科学研究科(修士課程)を設置
創発科学研究拠点(産学共創リサーチ・ファーム)を設置
大学院医学系研究科看護学専攻 博士後期課程を設置
ダイバーシティ推進室を設置
デジタルONEアンバサダーを任命
「数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム」が、
文部科学省「数理・データサイエンスAI教育プログラム
認定制度(応用基礎レベル)」に認定
イノベーションデザイン研究所新棟を設置【写真3】



【5月】瀬戸内国際芸術祭2022へ作品出展
プロジェクト名:瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト
作品名:「瀬戸内仕事歌&四国民話オペラ(二人奥方)」【写真4】



【4月】情報化推進統合拠点を設置
「2022年憲法記念日知事表彰」を受賞
寛善行学長が

【4月】地域中核・特色ある研究大学の連携による
産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択
四国初、大学入試で「国際バカロレア選抜」を導入

【6月】国際希少糖研究教育機構が
第12回地域産業支援プログラム表彰事業
(イノベーションアワード2023)文部科学大臣賞を受賞

協定締結

【2月】高松市日本電気(株)・STNet・香川大学・香川高等専門学校による
スマートシティ実証環境の構築活用に向けた基本合意書を締結
(株)STNetと連携協力に関する協定を締結

【7月】リコージャパン(株)と包括連携協定を締結
情報通信交流館(eとびあかがわ)における
交流拠点事業の実施に関する覚書を締結
芝浦工業大学と連携協力に関する
協定を締結【写真5】

【10月】土庄町及び小豆島町と「包括的連携協力に関する協定」
並びに「サテライトオフィスの運営に関する覚書」を締結
あいおいニッセイ同和損害保険(株)と連携協力に
関する協定を締結

【6月】JAグループ香川と
包括連携に関する協定を締結

【10月】東京農業大学と連携協力に関する
協定を締結【写真6】

【11月】国土交通省四国運輸局と包括連携に
関する協定を締結

【12月】津田塾大学・芝浦工業大学と連携協力に
関する協定を合同締結【写真7】

【3月】トモホルディングス(株)・徳島大正銀行(株)・香川銀行・徳島大学・
阿南工業高等専門学校・香川高等専門学校と持続可能な
地域経済の発展に係る連携協力に関する協定を締結

【7月】香川県警察と包括的連携協力に関する協定を締結

【9月】松谷化学工業(株)と包括連携協約を締結

【1月】(株)四国水族館開発と包括連携協定を締結

【1月】(株)NTTドコモと連携協定を締結

【2月】国立研究開発法人防災科学技術研究所・国立研究開発法人
海洋研究開発機構・坂出市と観測データの南海トラフ地震・津波災害対策
への活用に関する連携協力協定を締結



【3月】四国5国立大学法人連携により
一般社団法人四国地域大学ネットワーク機構」を
設立【写真8】

【4月】JICA四国と連携協力の推進に
関する覚書(更新)を締結

【12月】香川県及びノバルティスファーマ(株)と
循環器病対策に関する産官学連携協定を締結

【1月】三井住友信託銀行(株)と遺贈寄付に関する協定を締結

【3月】公益財団法人高松市スポーツ協会と連携協定を締結

【4月】高松地方気象台と連携協定を締結

【4月】協和化学工業(株)(現セトラスホールディング(株)及びマグミット製薬(株)と
包括的連携に関する協定を締結

【5月】企業等
日本マイクロソフト(株)と連携に関する協定を締結

【5月】企業等
公益財団法人松平公益会と
「中野武堂のデジタルアーカイブ事業に関する覚書」を締結

【6月】大学等
「四国立5大学と国土交通省四国地方整備局との
防災・減災復興に係る包括的連携協力に関する協定」を締結【写真9】



【10月】自治体等
大野市と連携協力に関する協定を締結

よりよい誌面作りのため、アンケートのご協力をお願い致します。

オリジナル
グッズが
当たる!



香川から夢の糖
世界に羽ばたく
希少糖



希少糖
とは?

その名のとおり希少な糖。自然界にごくわずしか存在しない糖ですが、種類は多く約50種類も存在することがわかっています。

無限の
可能性!

香川大学が、世界で初めてすべての希少糖の生産方法を確立。「これまでの糖の常識をつくがえす」さまざまな作用が明らかになりました。食品をはじめとして、医薬、工業、化学、植物分野に至るまで、現在も多様な研究が進められています。

希少糖「アルロース(ブシコース)」のはたらき

- ① カロリーゼロ
- ② 食後血糖の上昇をゆるやかに
- ③ 動脈硬化になりにくい
- ④ 脂肪燃焼の促進
- ⑤ 虫歯になりにくい
- ⑥ 抗酸化性が高まる

※アルロースはブシコースと呼ばれることもあります。

11月10日は
希少糖の日

一般社団法人 希少糖普及協会
香川県高松市番町1-2-19 安西ビル4階
TEL(087)814-3333 FAX(087)802-1755



あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

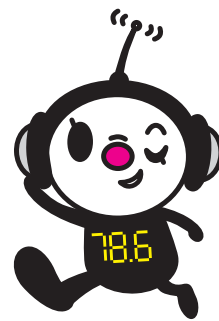
高松支店 〒760-0042 香川県高松市大工町 1-1
☎ 050-3460-1275



まだ誰も知らない安心を、ともに。

FM香川

I ♥ RADIO 786



最終合格
目指すなら
東アカ
で決まり!

公務員 2022 合格実績 1,332名
教員 2022 合格実績 2,345名

香川大学 公務員併願受験奨励生 -2022年度-

合格率 87.1%

※香川大学経済学部および法学部の高松校受講生合格率

香川大学生限定
特別受講料あり!

高松校、講座詳細はコチラ!



東京アカデミー 高松校

募集 公務員併願受験奨励生 / 教員香川県型対策講座 ☎ 0120220731
実施 個別相談会 ▶ 11:00~18:00 高松市サンポート 2-1 高松シンボルタワー 11F



見えない真面目を宿らせる。

真面目なものづくりは、社員、一人ひとりの真面目な精神がスタート。そこから本当に良い製品が生まれます。当社が考える、ものづくりの本質についてフルオリジナル短編動画で公開中です。是非、ご覧ください!



◀スペシャルサイト

真面目は見えない。

就職活動中の学生さんには三村鉄工を正しく知っていただき入社してほしいです。ホームページ & You Tube動画 & 会社案内を作成し、私たちの会社情報をたくさん伝えるようにしています。採用イベントにも積極的に参加しています。インターンシップ(通年)も随時受付中です。マイナビもしくはホームページもしくはお電話からお申し込みください!

You Tubeでも
情報発信中



公式HPは
こちらから



当社は香川県さぬき市で『油圧シリンダ』を専門に作ってる会社です



三村鉄工株式会社

香川県さぬき市末371番地6(志度末工業団地内)
TEL:087-894-7788(代) FAX:087-894-7088
https://www.mimura-iron.co.jp



建機用 ジャッキシリンダ